

## プログラム第2日目 2024年8月31日(土)

### <第1会場 (3階 中ホール) >

#### 教育講演 3

9:30 ~ 10:30

##### 無菌性炎症とインフラマソーム

座長：吉田 博 (東京慈恵会医科大学附属柏病院)

演者：高橋 将文 (自治医科大学 分子病態治療研究センター 炎症・免疫研究部)

#### 教育講演 4

10:40 ~ 11:40

##### 多結節性甲状腺腫の遺伝学的背景

座長：村上 正巳 (群馬大学大学院医学系研究科)

演者：小飼 貴彦 (獨協医科大学 ゲノム診断・臨床検査医学講座)

#### ランチョンセミナー 5

12:00 ~ 12:50

##### ルーチン検査での気づきから研究テーマへ

##### —尿中クレアチニン測定に及ぼす薬剤影響—

座長：吉川 直之 (東京大学医学部附属病院 検査部)

演者：吉本 明 (東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野)

共催：株式会社 日立ハイテク

#### 特別講演 2

13:50 ~ 14:50

##### 臨床検査の社会学—過度な期待と落胆、誤認をめぐって

座長：三井田 孝 (順天堂大学医療科学部 臨床検査学科)

演者：武藤 香織 (東京大学医科学研究所/理化学研究所生命医科学研究センター)

#### JSCC 国際企画セミナー

15:00 ~ 16:00

##### Low-density Lipoproteins : Update from Basic Science to new therapeutics and diagnostics

座長：小谷 和彦 (自治医科大学 地域医療学センター地域医療学部門)

演者：Alan T. Remaley (National Heart, Lung and Blood Institute, Bethesda, MD, USA)

<第2会場 (2階 大会議室 201) >

RCPC

9:30 ~ 11:30

RCPC 臨床化学検査を読む

コーディネーター：山本<sup>やまもと</sup>さやか (自治医科大学 臨床検査医学)  
 回答者：寺内<sup>てらうち</sup>博<sup>ひろ</sup>紀<sup>のり</sup> (獨協医科大学病院 臨床検査センター)  
 関田<sup>せきた</sup>綱<sup>つな</sup>基<sup>き</sup> (がん研究会 有明病院)

ランチョンセミナー6

12:00 ~ 12:50

これからが面白い! 「尿生化学」の世界

座長：宿谷<sup>やまもと</sup>賢<sup>ひろゆき</sup>一 (順天堂大学 医療科学部 臨床検査学科)

演者：山本<sup>やまもと</sup>裕<sup>ひろ</sup>之 (京都府立医科大学附属病院 臨床検査技術課)

共催：栄研化学株式会社

受賞講演

16:10 ~ 17:10

座長：恵<sup>なかに</sup>淑<sup>ゆうすけ</sup>萍 (北海道大学 大学院保健科学研究所)

山下<sup>やまもと</sup>計<sup>けい</sup>太 (浜松医科大学医学部附属病院 検査部)

学術賞 D型アミノ酸に着目した腎臓病研究

○中出<sup>なかに</sup>祐<sup>ゆう</sup>介<sup>すけ</sup>  
 (金沢大学附属病院 検査部)

技術賞 汎用性を確立したサーファクタントプロテイン D (SP-D) 測定試薬  
 「ナノピア SP-D」の開発

○藤村<sup>ふじむら</sup>建<sup>けん</sup>午<sup>ご</sup>, 岩崎<sup>いわざき</sup>真<sup>ま</sup>波<sup>なみ</sup>, 高畑<sup>たかはた</sup>智<sup>ち</sup>宏<sup>ひろ</sup>  
 (積水メディカル株式会社 研究開発統括部 つくば研究所)

<第3会場 (2階 大会議室 202) >

機器・試薬セミナー

9:30 ~ 10:45

座長：メ谷<sup>やま</sup>直<sup>な</sup>人 (国際医療福祉大学熱海病院臨床検査科)

ERS-1 汎用生化学自動分析装置用プロカルシトニン測定試薬のご紹介

○藤田<sup>ふじた</sup>知<sup>とも</sup>世<sup>よ</sup>  
 (株式会社カイノス)

ERS-2 臨床検査領域における当社のご紹介 プロカルシトニンを中心に

○黒木<sup>くろき</sup>優<sup>ゆう</sup>介<sup>すけ</sup>, 西川<sup>にしがわ</sup>彰<sup>あきら</sup>力<sup>りき</sup>, 松本<sup>まつもと</sup>幹<sup>かん</sup>雄<sup>ゆう</sup>  
 (ベックマン・コールター株式会社)

ERS-3 遺伝子関連検査用 QC とパネルのご紹介～遺伝子関連検査の質保証～

○飯島<sup>いひじま</sup>壮<sup>そう</sup>悟<sup>ご</sup>  
 (バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社)

**ERS-4 心血管疾患リスクを予測する新規 HDL 機能測定法の開発**

○佐藤 正樹<sup>1,2</sup>, Edward Neufeld<sup>3</sup>, 濱崎 真人<sup>2,4</sup>, Alan T. Remaley<sup>3,5</sup>,  
小谷 和彦<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>栄研化学株式会社 研究開発統括部 基礎研究所 未来技術研究部,  
<sup>2</sup>自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門, <sup>3</sup>Lipoprotein  
Metabolism Laboratory, National Heart, Lung, and Blood Institute, NIH,  
<sup>4</sup>栄研化学株式会社 研究開発統括部 応用技術研究所, <sup>5</sup>The NIH Clinical  
Center)

**ERS-5 生化学・免疫分析システム Atellica ファミリーのご紹介**

○山崎由香子

(シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社)

**ランチオンセミナー7**

12:00 ~ 12:50

**汎用生化学自動分析装置を用いて約 10 分で定量できるようになった今日、  
プロカルシトニンを臨床でどう活かすか？**

座長：大西 宏明 (杏林大学 医学部 臨床検査医学教室)

演者：間藤 卓 (自治医科大学 医学部 救急医学講座)

共催：株式会社カイノス

**第 19 回企業シンポジウム**

16:00 ~ 18:30

**認知症の最先端医療を通じた共生社会への貢献**

座長：宮田 満 (株式会社宮田総研/株式会社 Sustainable Cell Therapeutics/株式会  
社ヘルスケア・イノベーション)

小西 健司 (旭化成ファーマ株式会社 診断薬事業部 酵素製品部 営業グループ)

**CS-1 抗 A $\beta$  抗体レカネマブの早期アルツハイマー病を対象とした臨床開発**

○中川 雅喜<sup>1</sup>, 小川 智雄<sup>1</sup>, Michael Irizarry<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>エーザイ株式会社 ニューロロジー 日本・アジア臨床開発部, <sup>2</sup>Eisai  
Inc.)

**CS-2 認知症 DMT 時代におけるバイオマーカー測定技術の変遷**

○野島 久

(富士レビオ株式会社 試薬開発部 神経疾患試薬開発課)

**CS-3 アルツハイマー病新薬の登場により認知症医療はどう変わるか？**

○岩田 淳

(東京都健康長寿医療センター)

<第4会場 (1階 小会議室 103+104) >

シンポジウム4

9:30 ~ 11:30

質量分析による臨床化学研究の最前線

座長：野村 文夫 (公益財団法人ちば県民保健予防財団遺伝子診療部)  
 恵 淑萍 (北海道大学 大学院保健科学研究所)

共催：一般社団法人日本医用マススペクトル学会

S4-1 細胞外小胞メタボローム解析が拓く疾患予防マーカー開発研究

○三枝 大輔  
 (帝京大学 薬学部)

S4-2 Lipidomics of Alzheimer's disease samples

○Siddabasave Gowda B. Gowda<sup>1,2</sup>, Jayashankar Jayaprakash<sup>2</sup>,  
 Divyavani Gowda<sup>1</sup>, Hitoshi Chiba<sup>3</sup>, Shu-Ping Hui<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>Faculty of Health Sciences, Hokkaido University, <sup>2</sup>Graduate School of  
 Global Food Resources, Hokkaido University, <sup>3</sup>Department of Nutrition,  
 Sapporo University of Health Sciences)

S4-3 質量分析によるメンタルヘルスの血液検査の社会実装に向けて

○瀬戸山大樹  
 (九州大学病院 検査部)

S4-4 質量分析によるヒト検体の臨床化学的分析に基づいたリバーストランスレ  
 ショナルリサーチ

○蔵野 信  
 (東京大学 医学部附属病院 検査部)

ランチョンセミナー8

12:00 ~ 12:50

臨床検査としての薬物血中濃度測定

座長：山田 俊幸 (自治医科大学臨床検査医学)  
 演者：高橋 聡 (札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

共催：H.U.フロンティア株式会社 株式会社エスアールエル 富士レビオ株式会社

シンポジウム6

16:10 ~ 18:10

遺伝子・染色体検査のピットフォール

座長：長田 誠 (国際医療福祉大学)  
 松田 和之 (信州大学 医学部 保健学科)

S6-1 染色体検査のピットフォール

○松田 和之  
 (信州大学 医学部 保健学科)

## S6-2 生殖細胞系列遺伝子検査のピットフォール

○石毛 崇之

(千葉大学医学部附属病院 検査部)

## S6-3 病原体遺伝子検査のピットフォール

～新型コロナウイルス感染拡大を経験して～

○斉藤 絵馬<sup>1</sup>, 小笠原由美子<sup>1</sup>, 山田 芳子<sup>1</sup>, 金子 紀章<sup>1</sup>, 飯田 慶治<sup>2</sup>(株式会社エスアールエル, <sup>2</sup>H.U.フロンティア株式会社)

## &lt;第5会場 (1階 小会議室 101+102) &gt;

一般演題 (口演) 1

9:30 ~ 10:30

## 症例 1

座長：清宮 正徳 (国際医療福祉大学成田保健医療学部医学検査学科)

小堺 利恵 (東北医科薬科大学病院 検査部)

## O1-1 CK-MB 蛋白量測定において CK/CKMB 比が異常高値を呈した一例

○藤巻立生明<sup>1</sup>, 鈴木 暁<sup>1</sup>, 上林 慧也<sup>1</sup>, 関田 綱基<sup>1</sup>, 海原 和己<sup>1</sup>,  
阿部 仁<sup>1</sup>, 三宅 一徳<sup>2</sup>, 中山耕之介<sup>1</sup>(公益財団法人 がん研究会 有明病院, <sup>2</sup>順天堂大学 医療科学部 臨床検査学科)

## O1-2 大動脈弁置換術後 CKMB 蛋白定量 (ラテックス免疫比濁法) 測定値が経時的に異常高値を呈した 1 例

○河野 正臣<sup>1</sup>, 石橋みどり, 諏訪部 晃

(医療法人社団 誠馨会 新東京病院 臨床検査科)

## O1-3 術中投与色素の混濁指数への影響：

パテントブルーが混濁指数に正誤差を示した一例

○中野 恵一<sup>1</sup>, 清宮 正徳<sup>2</sup>, 安田 慶子<sup>1</sup>, 山下 直樹<sup>1</sup>, 後藤 秀樹<sup>1</sup>,  
豊嶋 崇徳<sup>1</sup>(北海道大学病院 検査・輸血部, <sup>2</sup>国際医療福祉大学大学院)

## O1-4 血漿保存に伴う経時的な LD 活性低下とアイソザイムとの関係

○田中満里奈<sup>1</sup>, 沼野 剛<sup>1</sup>, 松下 誠<sup>2</sup>(地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 検査技術部, <sup>2</sup>群馬パース大学 医療技術学部 検査技術学科)

## O1-5 臨床症状と乖離する高アンモニア血症の原因究明を試みた一症例

○野見山倫子, 瀬戸山大樹, 丸山 奏恵, 酒本美由紀, 堀田多恵子,  
國崎 祐哉

(九州大学病院 検査部)

O1-6 生化学検査における輸液混入例の解析

- 山川<sup>やまかわ</sup> 智弘<sup>ともひろ</sup><sup>1</sup>, 太田 賢治<sup>1,2</sup>, 木村由美子<sup>1</sup>, 長谷川寛雄<sup>1,2</sup>, 柳原 克紀<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>長崎大学病院 検査部, <sup>2</sup>長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学)

一般演題 (口演) 2

10:40 ~ 11:30

症例 2

座長：諏訪部 章 (新東京病院 臨床検査部)  
井本真由美 (近畿大学病院 中央臨床検査部)

O2-1 尿中 C-ペプチドが異常高値を示した 1 症例

- 鈴木<sup>すずき</sup> 光司<sup>こうじ</sup><sup>1</sup>, 酒井 昭子<sup>1</sup>, 中川 央充<sup>1</sup>, 青木 絵美<sup>1</sup>, 大野 明美<sup>1</sup>,  
横田 浩充<sup>1</sup>, 涌井 昌俊<sup>2</sup>, 松下 弘道<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>慶応義塾大学病院 臨床検査科, <sup>2</sup>慶應義塾大学病院 医学部 臨床検査医学)

O2-2 免疫固定法において IgA-λ 型 M 蛋白で λ の反応が減弱する原因の解析と対応

- 早乙女<sup>さうとめ</sup> まい子<sup>まいこ</sup><sup>1</sup>, 木村 萌<sup>1</sup>, 澤田 威男<sup>1</sup>, 築瀬直穂美<sup>1</sup>, 土谷こずえ<sup>1</sup>,  
山田 俊幸<sup>2</sup>, 皆方 大佑<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>自治医科大学附属病院 臨床検査部, <sup>2</sup>自治医科大学附属病院 臨床検査医学, <sup>3</sup>自治医科大学附属病院 内科学講座血液部門)

O2-3 免疫固定法におけるリウマトイド因子の影響により IgG、λ の M 蛋白が疑われた一症例

- 澤田<sup>さわだ</sup> 威男<sup>なけお</sup><sup>1</sup>, 木村 萌<sup>1</sup>, 築瀬直穂美<sup>1</sup>, 土谷こずえ<sup>1</sup>, 山田 俊幸<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>自治医科大学附属病院, <sup>2</sup>自治医科大学附属病院 臨床検査医学)

O2-4 CEA 偽低値、TSH 偽高値の原因と出現頻度の検討

- 中田<sup>なかだ</sup> 瞳美<sup>ひとみ</sup>, 阿部 正樹, 俵木 美幸, 小笠原洋治  
(東京慈恵会医科大学附属第三病院 中央検査部)

O2-5 CRP が異常高値となった重症急性膵炎の 1 症例

- 小堺<sup>こざかい</sup> 利恵<sup>りけい</sup><sup>1</sup>, 片山 智文<sup>2</sup>, 高橋 瑞恵<sup>1</sup>, 高橋伸一郎<sup>1,3</sup>  
(<sup>1</sup>東北医科薬科大学病院 検査部, <sup>2</sup>東北医科薬科大学 医学部 内科学第二 (消化器内科), <sup>3</sup>東北医科薬科大学 医学部 臨床検査医学)

ランチョンセミナー 9

12:00 ~ 12:50

炎症性腸疾患の新たな血清活動性マーカー LRG の同定から実用化まで

座長：土谷こずえ (自治医科大学附属病院 臨床検査部)

演者：仲<sup>なか</sup> 哲治<sup>てつじ</sup> (岩手医科大学 内科学講座 膠原病・リウマチ・アレルギー内科)

共催：積水メディカル株式会社

## 脂質 1

座長：仁井見英樹（富山大学医学部 臨床分子病態検査学講座）

末吉 茂雄（女子栄養大学 栄養学部）

## O3-1 赤血球の体積変化を考慮した赤血球-血漿間脂質転送の解析

○山崎あずさ<sup>1,2</sup>, 亀田 貴寛<sup>1,3</sup>, 渡部 芽以<sup>2</sup>, 吉本 明<sup>1</sup>, 東田 修二<sup>2</sup>,  
大川龍之介<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野, <sup>2</sup>東京医科歯科大学病院 検査部, <sup>3</sup>帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科）

## O3-2 2型糖尿病患者における BMI と Lp (a) 濃度の関連性

○佐藤 亮<sup>1</sup>, 平石 千佳<sup>2</sup>, 鈴木 亮平<sup>1</sup>, 小島 貴衣<sup>1</sup>, 河合 昭人<sup>1</sup>,  
政木 隆博<sup>1,3</sup>, 吉田 博<sup>1,2,3</sup>

（<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部, <sup>2</sup>東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部, <sup>3</sup>東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座）

## O3-3 肥満心筋症例白血球における脂肪組織リパーゼ活性について

○村野 武義<sup>1</sup>, 石原 典子<sup>1</sup>, 齋木 厚人<sup>2</sup>

（<sup>1</sup>東邦大学 理学部 臨床検査技師課程, <sup>2</sup>東邦大学 医療センター佐倉病院 糖尿病・内分泌・代謝センター）

## O3-4 非アルコール性脂肪性肝炎患者における LDL 中のホスファチジルコリン組成と肝線維化との関連

○村上奈々緒<sup>1</sup>, 櫻井 俊宏<sup>1</sup>, 櫻井 知子<sup>1</sup>, 能祖 一裕<sup>2,3</sup>, 千葉 仁志<sup>4</sup>,  
恵 淑萍<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>北海道大学 大学院保健科学研究院, <sup>2</sup>岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科消化器・肝臓内科学, <sup>3</sup>岡山市立市民病院 消化器内科, <sup>4</sup>札幌保健医療大学 栄養学科）

## O3-5 内臓脂肪に影響を及ぼす遺伝・環境因子と、血中糖・脂質関連マーカーとの関連解析

○荒川 裕也<sup>1,2</sup>, 大阪大学ツインリサーチグループ<sup>2</sup>, 渡邊 幹夫<sup>1,2</sup>

（<sup>1</sup>大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座, <sup>2</sup>大阪大学 大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター）

## 脂質 2

座長：平山 哲（東京学芸大学 教育研究基盤センター機構 保健管理センター）

廣渡 祐史（埼玉県立大学保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻）

## O4-1 ヒト肝培養細胞における酸化 HDL の取り込み経路の探索

○笹 真穂<sup>1</sup>, 櫻井 俊宏<sup>1</sup>, 石田航太郎<sup>1</sup>, 千葉 仁志<sup>2</sup>, 恵 淑萍<sup>1</sup>  
 (1北海道大学 大学院 保健科学研究所, 2札幌保健医療大学)

## O4-2 ヒト尿細管上皮細胞 HK-2 における酸化 HDL のカルジオリピン代謝への影響

○佐藤 美涼<sup>1</sup>, 櫻井 俊宏<sup>1</sup>, 千葉 仁志<sup>2</sup>, 恵 淑萍<sup>1</sup>  
 (1北海道大学 大学院 保健科学研究所, 2札幌保健医療大学)

## O4-3 apoE 含有リポ蛋白に対する SDC1 と LRP1 の協調的相互作用に及ぼす apoE アイソフォームの影響

○松浦 弘人<sup>1,2</sup>, 赤羽 匠吾<sup>3</sup>, 清水 梨帆<sup>2</sup>, 石嶺 南生<sup>2</sup>, 宇佐美陽子<sup>2</sup>, 山内 一由<sup>4,5</sup>  
 (1信州大学 大学院 総合医理工学研究科 医学系専攻 保健学分野, 2信州大学医学部附属病院 臨床検査部, 3信州大学 大学院 医学系研究科 保健学専攻 検査技術科学分野, 4信州大学 学術研究院 保健学系, 5信州大学 医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因・病態検査学領域)

## O4-4 血中脂肪酸バランスと 2 型糖尿病患者の腎機能低下との関係

○西村 英里<sup>1</sup>, 鬼木健太郎<sup>1</sup>, 佐藤 崇雄<sup>2</sup>, 陣内 秀昭<sup>3</sup>, 猿渡 淳二<sup>1</sup>  
 (1熊本大学大学院生命科学研究部 薬物治療学分野, 2熊本県産業技術センター, 3医療法人社団陣内会陣内病院)

## O4-5 Quantification of cholesteryl ester levels in preadolescent children plasma : the Hokkaido study

○Divyavani Gowda<sup>1</sup>, Siddabasave Gowda B. Gowda<sup>1,2</sup>, 池田 敦子<sup>1,3</sup>, Ketema Rahel Mesfin<sup>1,3</sup>, 千葉 仁志<sup>4</sup>, 恵 淑萍<sup>1</sup>  
 (1Faculty of Health Sciences, Hokkaido University, 2Graduate School of Global Food Resources, Hokkaido University, 3Center for Environmental and Health Sciences, Hokkaido University, 4Department of Nutrition, Sapporo University of Health Sciences)

## &lt;第6会場 (1階 小会議室 107+108) &gt;

一般演題 (口演) 5

9:30 ~ 10:30

## 病態解析 1

座長：金子 誠 (三井記念病院 臨床検査部)

石嶺 南生 (信州大学医学部附属病院 臨床検査部)

## O5-1 慢性腎臓病ステージ毎の血清総 Mg・イオン化 Mg 濃度

- 野村 祐希<sup>1</sup>, 岩津 好隆<sup>1,2</sup>, 向井 秀幸<sup>2</sup>, 小谷 和彦<sup>3</sup>, 山田 俊幸<sup>1</sup>  
 (1自治医科大学臨床検査医学講座, 2自治医科大学分子病態治療研究センター抗加齢医学研究部, 3自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門)

## O5-2 血液透析患者における予後予測因子としての高感度トロポニンIの有用性—7年間の前向き研究—

- 木戸口周平<sup>1</sup>, 岩村菜々美<sup>1</sup>, 旭 ななえ<sup>1</sup>, 武田 泉<sup>1</sup>, 松田 航平<sup>1</sup>,  
 宮城 恭子<sup>2</sup>, 遠山 直志<sup>3</sup>, 宮崎 良一<sup>2</sup>, 木村 秀樹<sup>1</sup>  
 (1福井大学 医学部 附属病院 検査部, 2藤田記念病院 内科, 3福井大学 医学部 附属病院 腎臓内科)

## O5-3 血清免疫グロブリン G 値の出生時基準値作成

- 生田 寿彦<sup>1</sup>, 岩谷 壮太, 小林 孝生  
 (兵庫県立こども病院 総合周産期医療センター 新生児内科)

## O5-4 超高感度 ELISA を用いた認知症バイオマーカー測定および解析手法の開発

- 木村 雄太<sup>1</sup>, 木村 哲也<sup>1</sup>, 鈴木 宏幸<sup>2</sup>, 山城 大地<sup>1</sup>, 小川 将<sup>1</sup>,  
 川野 克己<sup>1</sup>, 金井 信雄<sup>1</sup>, 岩田 淳<sup>1</sup>, 栗田 主一<sup>1</sup>, 鳥羽 研二<sup>1</sup>  
 (1東京都健康長寿医療センター研究所 認知症未来社会創造センター,  
 2東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム)

## O5-5 Kynurenine aminotransferase 2 遺伝子欠損マウスにおけるトリプトファン代謝産物量の変化

- 杉浦 彩香, 藤垣 英嗣, 高尾明日香, 生野 彰宏, 山本 康子,  
 齋藤 邦明  
 (藤田医科大学大学院 保健学研究科 先進診断システム開発分野)

## O5-6 自動測定による唾液テストステロンおよびコルチゾール濃度を用いた運動ストレスの評価の検討

- 常川 勝彦<sup>1,2</sup>, 長澤 拓海<sup>2</sup>, 村上 正巳<sup>1</sup>, 木村 孝穂<sup>1,2</sup>  
 (1群馬大学大学院 医学系研究科 臨床検査医学, 2群馬大学医学部附属病院 検査部)

## がん・免疫

座長：末廣 寛（山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学講座）

神力 悟（熊本大学大学院生命科学研究部 臨床病態解析学講座）

## O6-1 電解水素水の抗炎症効果を介した潰瘍性大腸炎モデルの腹痛軽減に関する検討

○胡<sup>こ</sup> 迪<sup>てき</sup>

（京都橋大学 健康科学部 臨床検査学科）

O6-2 誤嚥性肺臓炎における IL-1 $\beta$  新規プロセシング機構の解明○水品<sup>みずしな</sup> 佳子<sup>よしこ</sup><sup>1,2,3</sup>, 高橋 将文<sup>3</sup>, 山田 俊幸<sup>1</sup>（<sup>1</sup>自治医科大学 臨床検査医学, <sup>2</sup>自治医科大学 内科学部門 呼吸器内科学講座, <sup>3</sup>自治医科大学 分子病態治療研究センター 炎症・免疫研究部）

## O6-3 口腔癌細胞の転移獲得における Stanniocalcin-1 の役割に関する研究

○小竹<sup>こたけ</sup>ほの香<sup>ほのか</sup><sup>1</sup>, 古高 裕導<sup>1</sup>, 高橋 祐輔<sup>2</sup>, 田中 真樹<sup>2</sup>（<sup>1</sup>北海道医療大学大学院 医療技術科学研究科, <sup>2</sup>北海道医療大学 医療技術学部 臨床検査学科）

## O6-4 糖化フェリチンを用いた早期肝細胞癌診断指標の新規開発

○石黒<sup>いしぐろ</sup> 旭代<sup>あきよ</sup><sup>1</sup>, 小林 利彦<sup>2</sup>, 森重 彰博<sup>2</sup>, 國宗 勇希<sup>1,2</sup>, 西岡 光昭<sup>2</sup>,  
末廣 寛<sup>1,2</sup>, 山崎 隆弘<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>山口大学大学院 医学系研究科 臨床検査・腫瘍学講座, <sup>2</sup>山口大学医学部附属病院 検査部）

## O6-5 中心体複製制御因子 SAC3D1 に着目した乳癌の予後解析と悪性進展機序の解明

○酒井<sup>さかい</sup> 康弘<sup>やすひろ</sup><sup>1,2</sup>, 伊藤 弘康<sup>2,3</sup>（<sup>1</sup>浜松医科大学 医学部 医学科 腫瘍病理学講座, <sup>2</sup>藤田医科大学 医学部 臨床検査科, <sup>3</sup>藤田医科大学 医療科学部 病態システム解析医学分野）

## O6-6 大腸がん患者に対するベバシズマブ投与後の血清・血漿中 VEGF121 及び VEGF165 の濃度変化

○竹之内<sup>たけのうち</sup>和則<sup>かずのり</sup><sup>1</sup>, 山口 宗一<sup>1</sup>, 東 貞行<sup>1</sup>, 大川 政士<sup>2</sup>, 橋口 照人<sup>1</sup>（<sup>1</sup>鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野, <sup>2</sup>霧島市立医師会医療センター 外科）

## 一般演題（口演）7

15:00 ~ 15:50

## 測定法・技術 1

座長：涌井 昌俊（慶應義塾大学 医学部 臨床検査医学教室）

後藤 和人（東海大学医学部臨床検査学）

## O7-1 血中マルトースの酵素サイクリング法の開発および臨床的検討

- 米根 鉄矢<sup>1</sup>, 清宮 正徳<sup>1</sup>, 外園 栄作<sup>2</sup>, 大澤 進<sup>3</sup>  
 (<sup>1</sup>国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科, <sup>2</sup>九州大学医学  
 研究院 保健学部門 検査技術科学分野, <sup>3</sup>(株)リージャー 微量血液分  
 析研究所)

## O7-2 乾癬の病態に関するマイクロRNAの役割

- 山口 宗一<sup>1</sup>, 東 裕子<sup>2</sup>, 竹之内和則<sup>1</sup>, 橋口 照人<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野, <sup>2</sup>鹿  
 児島大学大学院 医歯学総合研究科 皮膚科学)

## O7-3 アンチセンス核酸に対するマウスモノクローナル抗体の創製

- 大山 浩之, 田中 寿理, 大和 璃音, 有吉 純平, 神谷由紀子  
 (神戸薬科大学)

## O7-4 ヒト血清乳酸デヒドロゲナーゼLD 特異抗体の作成について

- 近藤 明  
 (天理大学 医療学部 臨床検査学科)

## O7-5 GFAP に対するモノクローナル抗体の取得および免疫測定法の構築

- 佐藤 英雄, 鎌田 晟, 濱中 智裕, 野島 久, 伊勢 伸之,  
 森山 和重, 青柳 克己  
 (富士レビオ株式会社 研究開発本部)

## 一般演題（口演）8

16:00 ~ 16:50

## 測定法・技術 2

座長：松下 誠（群馬パース大学 臨床技術学部 検査技術学科）

黒崎 祥史（北里大学大学院 医療系研究科）

## O8-1 AtellicaCH930 専用試薬「ピュアオート S FE」の性能評価

- 市川 七央<sup>1</sup>, 寺内 博紀<sup>1</sup>, 白石 一正<sup>1</sup>, 田中 光昭<sup>1</sup>, 小飼 貴彦<sup>2</sup>  
 (<sup>1</sup>獨協医科大学病院 臨床検査センター, <sup>2</sup>獨協医科大学 ゲノム診断・  
 臨床検査医学)

## O8-2 新規前処理法を用いたクレアチニン測定試薬の開発

- 二井矢 航, 菅 亮彦  
 (株式会社カイノス)

## O8-3 SDS-PAGE を用いたネコの尿タンパクの同定と応用

- 櫻井 杏佳, 飯島 史朗, 下垣 里河, 糸永英里子  
 (文京学院大学大学院 医療科学研究科)

**O8-4 膜透過ペプチドとカベオラ構造の主要タンパク質である Caveolin-1 についての関係解析**

○奥田 明子<sup>あおくだ あきこ</sup>, 須貝 景斗  
(新潟大学 大学院 保健学研究科)

**O8-5 ヒト末梢血好中球のライフサイクルリズムと細胞表面抗原の発現相関解析**

○新井りり香<sup>あらいりりか</sup><sup>1</sup>, 林 由里子<sup>1</sup>, 大西 浩史<sup>2</sup>, 松下 誠<sup>1</sup>, 藤田 清貴<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>群馬パース大学大学院 保健科学研究科, <sup>2</sup>群馬大学 大学院保健学研究科)

**<第6会場、第7会場 (1階 小会議室 107+108、小会議室 105+106) >**

**シンポジウム5 (グループワーク等の形式)**

**17:10 ~ 18:10**

**若手会員向け研究相談会～キャリア形成における学術活動**

座長：小谷 和彦 (自治医科大学 地域医療学センター地域医療学部門/日本臨床化学会 若手育成委員会)

座長 (グループワーク進行)：中川 央充 (慶應義塾大学病院 臨床検査科/日本臨床化学会 若手育成委員会)

岡田 光貴 (京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科)

企画：若手育成委員会

**S5 学術活動に向けて一運命の人は学会に！？一**

演者：中川 央充<sup>なかがわ てるみち</sup> (慶應義塾大学病院 臨床検査科/日本臨床化学会 若手育成委員会)

グループワーク：石井 直仁<sup>いしい なおひと</sup> (北里大学 医療衛生学部 臨床化学研究室)

大川龍之介<sup>おおかわりゅうのすけ</sup> (東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野)

中渡 一貫<sup>なかわたり かずき</sup> (東京大学医学部附属病院 検査部)

渡邊 大志<sup>わたなべ ひろし</sup> (千葉県こども病院 検査科)

**<第7会場 (1階 小会議室 105+106) >**

**一般演題 (口演) 9**

**9:30 ~ 10:30**

**ゲノム**

座長：松下 一之 (千葉大学医学部附属病院 検査部)

中山 智祥 (日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野)

**O9-1 個体内変動を考慮した自己免疫性甲状腺疾患の病態予後とヒストン H3 アセチル化レベルとの関連**

○井上 直哉<sup>いのうえ なおや</sup><sup>1,2</sup>, 羽賀 絵美<sup>2</sup>, 荒川 裕也<sup>2</sup>, 野口 祐介<sup>2</sup>, 岩谷 良則<sup>2</sup>, 日高 洋<sup>3</sup>, 渡邊 幹夫<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門, <sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座, <sup>3</sup>大阪大学医学部附属病院 臨床検査部)

### O9-2 HLA-DRB1 分子のアミノ酸多型が自己免疫性甲状腺疾患の発症および疾患予後に及ぼす影響

○野口 祐介<sup>1</sup>, 荒川 裕也<sup>1</sup>, 井上 直哉<sup>1,2</sup>, 稲岡 知紗<sup>1</sup>, 矢野由希子<sup>1</sup>, 日高 洋<sup>3</sup>, 岩谷 良則<sup>1</sup>, 渡邊 幹夫<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座, <sup>2</sup>大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門, <sup>3</sup>大阪大学医学部附属病院 臨床検査部)

### O9-3 アレルギー性疾患に影響するエピゲノム因子の一卵性双生児を対象とした探索

○亀井 莉歩<sup>1</sup>, 北村 夏樹<sup>1</sup>, 川上 莉歩<sup>1</sup>, 鴻野 天音<sup>1</sup>, 米田 真菜<sup>1</sup>, 稲山 綾乃<sup>1</sup>, 荒川 裕也<sup>1,2</sup>, 大阪大学ツインリサーチグループ<sup>2</sup>, 渡邊 幹夫<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座, <sup>2</sup>大阪大学大学院 医学系研究科付属 ツインリサーチセンター)

### O9-4 膀胱癌組織を用いた microRNA 定量解析の臨床的有用性

○成瀬 有純<sup>1</sup>, 菊池 有純<sup>1</sup>, 高木 公暁<sup>2</sup>, 野中 健一<sup>1,3</sup>  
(<sup>1</sup>社会医療法人大雄会 医科学研究所, <sup>2</sup>大雄会第一病院 泌尿器科, <sup>3</sup>総合大雄会病院 消化器外科)

### O9-5 当院で開発した Multi-gene panel testing の使用経験とその精度管理について

○松下 一之<sup>1,2,3,4</sup>, 石毛 崇之<sup>1</sup>, 西村 基<sup>1,2,3</sup>, 川崎 健治<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大学医学部附属病院 検査部, <sup>2</sup>千葉大学医学部附属病院 遺伝子診療部, <sup>3</sup>千葉大学医学部附属病院 がんゲノムセンター, <sup>4</sup>千葉大学医学部附属病院 超音波センター)

### O9-6 Screening of high-risk pregnancies for Down Syndrome using quadruple test at the tertiary care center of Nepal

○APEKSHA NIRLA<sup>1</sup>, SHARMA VIJAY KUMAR<sup>1</sup>, TULADHAR EANSTARA<sup>1</sup>, BHATTARAI ASEEM<sup>1</sup>, RAUT MITHILESHWER<sup>1</sup>, KOIRALA POONAM<sup>2</sup>, PANT PADAM RAJ<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>Department of Clinical Biochemistry, Institute of Medicine, Tribhuvan University Teaching Hospital, Maharajgunj, Kathmandu, Nepal, <sup>2</sup>Department of Obstetrics and Gynecology, Institute of Medicine, Tribhuvan University Teaching Hospital, Maharajgunj, Kathmandu, Nepal)

## 精度管理・その他

座長：川崎 健治（千葉大学医学部附属病院 検査部）

汐谷 陽子（東京都立神経病院 検査科）

## O10-1 当院における血中尿素窒素（BUN）緊急異常値報告の検討

○照内 美樹<sup>1</sup>, 出居真由美<sup>2,3</sup>, 一色 美和<sup>2</sup>, 山谷 琴子<sup>2</sup>, 安藤 南<sup>2</sup>,  
芳沢 杏美<sup>2</sup>, 田中 君枝<sup>2</sup>, 堀内 裕紀<sup>1</sup>, 伊藤 聡美<sup>1</sup>, 山本 剛正<sup>1</sup>,  
脇田 満<sup>1</sup>, 三井田 孝<sup>2,4</sup>, 田部 陽子<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部, <sup>2</sup>順天堂大学 医学部  
臨床検査医学講座, <sup>3</sup>順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター, <sup>4</sup>順  
天堂大学 医療科学部 臨床検査学科）

## O10-2 高齢者の甲状腺ホルモン基準範囲に関する検討

○北村 拓也<sup>1</sup>, 新堀 雄介<sup>1</sup>, 山本 剛正<sup>1</sup>, 脇田 満<sup>1</sup>, 田部 陽子<sup>1,2</sup>,  
堀内 裕紀<sup>2</sup>（<sup>1</sup>順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部, <sup>2</sup>順天堂大学 医学部  
臨床検査医学講座）

## O10-3 自己組織化マップ（SOM）を用いた検体検査健常値データ抽出の試み

○大江 宏康, 中川 詩織, 森 三佳, 岩田 恭宜  
（金沢大学 附属病院 検査部）O10-4 中長期変動を加味した生理的変動幅（Long-term Biological Variation ; L-BV）  
の新規設定○荻谷 健也<sup>1</sup>, 新関 紀康<sup>1</sup>, 竹林 史織<sup>1</sup>, 山下 計太<sup>1</sup>, 前川 真人<sup>2</sup>  
（<sup>1</sup>浜松医科大学医学部附属病院 検査部, <sup>2</sup>浜松医科大学 医学部）O10-5 非臨床領域における臨床化学的検査の施設間差・試薬間差の要因分析、及び  
課題対応に向けた提案○成澤 志保<sup>1</sup>, 小田 康雅<sup>2</sup>, 豊田 直人<sup>1,3</sup>  
（<sup>1</sup>中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部, <sup>2</sup>シスメック  
株式会社 R&I営業推進部, <sup>3</sup>動物臨床化学専門委員会）

## 感染症

座長：柳原 克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学分野）

政木 隆博（東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部）

## O11-1 ペットボトル飲料（中性 pH・無糖）における微生物叢の解析

○宮沢 美里<sup>1</sup>, 河内 美帆<sup>1</sup>, 涌井 杏奈<sup>1,2</sup>, 佐藤 拓一<sup>1</sup>（<sup>1</sup>新潟大学 大学院保健学研究科 臨床化学研究室, <sup>2</sup>新潟医療福祉大学  
医療技術学部）

## O11-2 Serum Opacity Factor (SOF) 活性の標準測定法確立に向けた検討

○堀内 優奈<sup>1</sup>, 小堀祐太郎<sup>2</sup>, 上野 剛<sup>3</sup>, 三澤 成毅<sup>1</sup>, 長南 正佳<sup>3</sup>,  
中村 文子<sup>2</sup>, 脇田 満<sup>3</sup>, 福島 理文<sup>4</sup>, 平山 哲<sup>4,5</sup>, 三井田 孝<sup>1,4</sup>  
(<sup>1</sup>順天堂大学 医療科学部 臨床検査学科, <sup>2</sup>順天堂大学医学部附属順天  
堂東京江東高齢者医療センター 臨床検査科, <sup>3</sup>順天堂大学医学部附属順  
天堂医院 臨床検査部, <sup>4</sup>順天堂大学大学院 医学研究科 臨床病態検査  
医学, <sup>5</sup>東京学芸大学 大学教育研究基盤センター機構)

## O11-3 当院における新型コロナウイルス抗原定量検査の偽陽性発生状況の調査

○政木 隆博<sup>1,2</sup>, 佐藤 亮<sup>1</sup>, 鈴木 亮平<sup>1</sup>, 永野 裕子<sup>1</sup>, 齊藤 正二<sup>1</sup>,  
河合 昭人<sup>1</sup>, 河野 緑<sup>2</sup>, 秋月 摂子<sup>1,2</sup>, 吉田 博<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部, <sup>2</sup>東京慈恵会医科大学  
臨床検査医学講座)

## O11-4 新型コロナウイルス遺伝子検出検査後の残余核酸抽出液を用いたウイルスゲノム解析

○河野 緑<sup>1,3</sup>, 政木 隆博<sup>1,2</sup>, 永野 裕子<sup>2</sup>, 齊藤 正二<sup>2</sup>, 河合 昭人<sup>2</sup>,  
秋月 摂子<sup>1,2</sup>, 吉田 博<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座, <sup>2</sup>東京慈恵会医科大学附属柏  
病院 中央検査部, <sup>3</sup>東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨  
床医学研究所)

## O11-5 麻疹ウイルス抗原蛋白と細胞受容体との分子間相互作用に関する研究

○長澤 紀佳<sup>1</sup>, 松下 誠<sup>1</sup>, 藤田 清貴<sup>1</sup>  
(群馬パース大学大学院 保健科学研究科)

## 一般演題 (口演) 12

16:00 ~ 16:50

## 薬物・その他

座長：尾田 一貴 (熊本大学病院 薬剤部・感染制御部)

宮城 博幸 (杏林大学医学部附属病院臨床検査部)

## O12-1 タクロリムスの生体肝移植術後における母集団薬物動態モデルの構築：前向き観察研究

○松本 直也<sup>1</sup>, 尾田 一貴<sup>2</sup>, 城野 博史<sup>1</sup>, 齋藤 秀之<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大学 大学院薬学教育部 臨床薬物動態学分野, <sup>2</sup>熊本大学病院  
薬剤部)

## O12-2 LC-MS/MS 用免疫墮剤分析キット「DOSSIMUNE」を用いた抗てんかん薬測定の見直し

○小林 亮<sup>1</sup>, 鈴木 瑛真<sup>1,2</sup>, 田中真輝人<sup>1,2</sup>, 及川 真依<sup>1</sup>, 遠藤 明美<sup>1</sup>,  
高橋 聡<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>札幌医科大学附属病院 検査部, <sup>2</sup>札幌医科大学 医学部 感染制御・  
臨床検査医学講座)

- O12-3 新規誘導体化キットを用いた LC-MS/MS によるビタミン D 代謝物の検出の向上  
○<sup>むらまつ しょうた</sup>村松 翔太<sup>1</sup>, 中川 央充<sup>1</sup>, 横田 浩充<sup>1</sup>, 涌井 昌俊<sup>1,2</sup>, 松下 弘道<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>慶應義塾大学病院 臨床検査科, <sup>2</sup>慶應義塾大学 医学部 臨床検査医学)
- O12-4 質量分析法を活用したスフィンゴ糖脂質網羅的測定法の構築と腎細胞癌スクリーニング分子探索への応用  
○<sup>まえかわ まさみつ</sup>前川 正充, 眞野 成康  
(東北大学病院 薬剤部)
- O12-5 クロザピンの血中濃度変動における有機アニオン輸送ポリペプチドの関与  
○<sup>さとう としひろ</sup>佐藤 紀宏<sup>1</sup>, 公文代将希<sup>1</sup>, 林 和未<sup>2</sup>, 小野口 豪<sup>3</sup>, 小松 浩<sup>3</sup>,  
平塚 真弘<sup>1,2</sup>, 前川 正充<sup>1,2</sup>, 富田 博秋<sup>3</sup>, 眞野 成康<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>東北大学病院 薬剤部, <sup>2</sup>東北大学 薬学部, <sup>3</sup>東北大学病院 精神科)